

ビジョン5

一般用漢方製剤および生薬製剤の開発推進と情報提供

一般用漢方製剤および生薬製剤の開発を推進し、市販後の情報提供を強化してい

体制の強化

きます

10年後のあるべき姿	対処すべき課題	2021	2025	2026	2030
<p>☑セルフメディケーション税制が恒久化され、税制対象医薬品が拡大している</p> <p>☑国民のニーズを的確に把握し、一般用漢方製剤および生薬製剤の承認基準の見直しが行われている</p>	<p>1セルフメディケーションの推進</p> <p>▶セルフメディケーション意識の醸成</p> <p>▶一般用漢方製剤および生薬製剤の特長のアウトリーチ</p> <p>▶セルフメディケーション税制利用の推進</p>	2030年度までのロードマップ（ステップ1）			
		<p>セルフメディケーションにおける一般用漢方製剤および生薬製剤の利活用推進</p>	<p>セルフメディケーション税制の恒久化と税制対象医薬品の拡大（一般用漢方製剤および生薬製剤の包含に向けて）</p>		
	<p>2一般用漢方製剤および生薬製剤の開発</p> <p>▶社会状況を反映した一般用漢方製剤および生薬製剤の活用範囲の拡大</p>	<p>一般用漢方製剤承認基準への追加希望処方を選定</p>	<p>一般用漢方製剤の効能・効果案の検討と対象品目の絞り込み</p>	<p>女性活躍社会の実現に資する新たな生薬製剤承認基準の公的機関での審議支援</p>	<p>健康寿命の延伸に資する新たな生薬製剤承認基準策定の可能性探索</p>
<p>3一般用漢方製剤および生薬製剤の情報提供の強化と広告</p> <p>▶適正広告基準の理解浸透</p>	<p>一般用漢方製剤および生薬製剤等の適正広告に関する機能強化</p>	<p>一般用漢方製剤および生薬製剤等の適正広告に関する対応チーム等の運用</p>	<p>会員会社の広告の共有による課題探索と情報提供</p>	<p>医薬品等適正広告基準の理解のための研修の実施</p>	

20年後のあるべき姿	対処すべき課題	2031	2035	2036	2040
<p>☑セルフメディケーション税制対象医薬品が一般用漢方製剤および生薬製剤まで拡大されている</p> <p>☑国民のセルフメディケーション推進に資する魅力のある一般用漢方製剤および生薬製剤の開発環境が整備され、情報とともに市場に提供されている</p>	<p>1セルフメディケーションの推進</p> <p>▶セルフメディケーション意識の浸透</p> <p>▶一般用漢方製剤および生薬製剤の特長の理解定着</p> <p>▶セルフメディケーション税制対象範囲への包含</p>	2040年度までのロードマップ（ステップ2）			
		<p>セルフメディケーション税制対象医薬品への一般用漢方製剤および生薬製剤の包含</p>	<p>一般用漢方製剤および生薬製剤によるセルフメディケーションの推進</p>		
	<p>2一般用漢方製剤および生薬製剤の開発</p> <p>▶一般用漢方製剤および生薬製剤の承認基準（活用範囲）の変更・拡大</p>	<p>一般用漢方製剤承認基準改正案の作成、公的検討班設置要望</p>	<p>一般用漢方製剤承認基準改正案の公的機関での審議支援</p>	<p>健康寿命の延伸に資する新たな生薬製剤承認基準案の検討</p>	<p>健康寿命の延伸に資する新たな生薬製剤承認基準案の公的機関での審議支援</p>
<p>3一般用漢方製剤および生薬製剤の情報提供の強化と広告</p> <p>▶時代変化に則した広告のあり方への対応支援</p>	<p>時代変化に則した広告に関する会員会社への支援（会員窓口設置等）</p>	<p>環境変化および実態に合わせた、広告での問題点に焦点を当てた研修の実施</p>			